

平成 20 年 9 月 25 日

各 位

会 社 名 全 日 本 空 輸 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 山元 峯生
(コード番号 9202 東証・大証各第 1 部)
問 合 せ 先 総 務 部 長 小 辻 智 之
(TEL . 03-6735-1001)

ボーイング 787 型機の受領遅延に伴う対応について

当社は、ボーイング 787 型機の開発遅延について、これまでボーイング社に引渡し計画を確認するとともに、事業計画上の影響を最小限にとどめるための代替機の手当てについて調整してまいりましたが、この度以下の内容にてボーイング社と合意しましたのでお知らせいたします。

1. 受領時期の見直し

	【当初契約】		【変更後】
①導入機数	確定 50 機	→	確定 50 機
②初号機受領	平成 20 年 5 月	→	平成 21 年 8 月
③導入スケジュール	年間約 7 機	→	年間約 6 機
	平成 27 年度末までに 50 機		平成 29 年度末までに 50 機
	(約 14～36 ヶ月、平均約 2 年の遅れ)		

2. 受領遅延に伴う対応

ボーイング 787 型機の代替機として、平成 22～23 年度にボーイング 767-300ER 型機 9 機を導入いたします。この他、既存機材の退役時期の調整や整備計画の調整等を実施いたします。

3. 今後の見通し

平成 20 年 4 月 30 日に公表しました通り、ボーイング 787 型機の受領遅延につきましては、今年度の事業計画策定時に反映済みのため、平成 21 年 3 月期の通期業績予想への影響はありません。

以 上